

# 関西帰国生親の会かけはし会報

Vol.46 関西帰国生親の会かけはし <http://www.ne.jp/asahi/kakehashi/kikoku/>

中高生時代の一番の思い出としてクラブ活動でのエピソードをあげる人はたくさんいるのではないのでしょうか。帰国生にとっては帰国後に、「日本でクラブ活動に入ってみたいけれどうまくやっていけるだろうか」と不安を抱くことがあるかもしれません。そこで今回の特集では、「帰国生とクラブ活動」を取りあげてみました。まず、ご自身も帰国生で現在は府立高校でご活躍されている先生に、海外経験についてインタビューさせていただきました。また、帰国生たちに、海外と日本のクラブ活動の違いや、帰国後日本のクラブにどんな思いで入部したのか、どんな様子だったかについて語っていただきました。そして見守っていた保護者にはその時の思いを聞いてみました。さらに、長年海外で日本人の子どもたちにサッカーの指導をしているコーチにもお話をお聞きしています。この特集を読んで、日本のクラブへの入部をためらっている子どもたちが一歩踏み出して青春の思い出を増やすことができれば幸いです。かけはしレポートでは、以前、「海外に持って行ってよかったもの」の記事についてご好評をいただきましたので、今号では「帰国時に持ち帰ってきてよかったもの」をお届けすることにしました。乗り物をテーマとした「異文化でドッキリ！」も、どうぞお楽しみください。

当たり前の日常を待ちわびる日々も、早2年。いまだに一時帰国もままならず海外で辛い思いをしている方も大勢いらっしゃるかと思います。それでもこの困難の中でも、家族の絆が深まったり、感謝の心が持てたり、思いやりの心が芽生えたりと、得られることはきっとあると思います。かけはしでは、人との結びつきをたいせつにして、みなさまに少しでも寄り添えますようこれからも取り組んでまいります。

関西帰国生親の会かけはし



## 目次

* ご挨拶		1
* 特集 - 帰国生とクラブ活動 -		
「言葉がわからなくてもスポーツはできる」	大阪府立住吉高等学校 教諭 清水 寛史	2
「日本のクラブ活動、どう思う？」	帰国生・保護者	4
「サッカーを通じて伝えたいこと」	Brilliant+ 代表 高橋 亮	7
* かけはしレポート (第24回) 「帰国時に持ち帰ってきてよかったもの」		8
* 海外の学校を紹介します 「ダラム大学~Durham University」	K. O.	11
* 異文化でドッキリ! <乗り物編>		12
* かけはし各チーム、今年度の取り組み		14
* 世界をつなげ! 「秋のオンラインレッツトーク 2021」・会員のつぶやき・編集後記		15
* 『帰国生への学校案内《関西》2022』・かけはし賛助会員のみなさま		16

(敬称略)

## 「言葉がわからなくてもスポーツはできる」



### 大阪府立住吉高等学校

#### 教諭 清水 寛史 先生

1978 年大阪生まれ、中学 2 年 5 月から高校 1 年 12 月までメキシコ合衆国、メキシコシティで暮らし、帰国後、大阪府立住吉高等学校に編入。大学卒業後、府立学校の英語教員として採用され、大阪府立岬高等学校に着任。6 年後に大阪府立住吉高等学校に異動となり、現在 13 年目、教員歴は 19 年目。

一 住吉高校で学ぶ帰国生や外国につながりのある生徒は学校ではどんな様子ですか。

◆ 校風からか本校には個性豊かな生徒が多いように思われ、帰国生選抜で入学した生徒も、海外にルーツを持つ生徒も、特に彼ら、彼女らの特性を意識したことがないくらい、一般選抜で入学した生徒に交じって、みんな仲良くやっているように思います。今はいませんが、通常時には 1・2 年生の国際文化科に一人ずつ留学生もいます。年度の初めに、「海外にルーツを持つ生徒」で集まる機会を設けたり、日本語が十分に理解できない生徒のために抽出授業を行ったり、成績が出るたびに当該生徒については担当部署から報告があります。一概に「帰国生」と言っても、いろいろな生徒がいますが、帰国生は順応力が高い中にも、自分の考えというか、ブレない芯を持っている生徒が多いような気はします。

一 先生の海外でのご経験について教えていただけますか。

◆ メキシコに渡ってすぐ 2 か月ほど、日本人学校に通いながら英語の勉強をし、その後、イギリス系のインターナショナルスクールに入りました。編入した登校初日、トイレの場所がわからずとても困りました。聞くのが恥ずかしかったんでしょうね。あと、帰りのスクールバスの番号がわからず、右往左往し、何とか家の前に着いて出迎えてくれた母親の顔を見て泣きました。(いまだに忘れません。行きが「7 号車」で帰りが「12 号車」)。それから、クラスに日本人の女の子がいて、英語が堪能でクラスメートと難なく会話し、楽しそうに学校生活を送っていました。毎日おろおろしている自分をまったく気にすることなく。正直、「日本語で助けてくれたらいいのに。冷たい人だな」という感情を持っていました。その後 1 年近くになり、英語がわかり始め、学校が楽しくなったある日のこと、教科書等を入れるロッカー置場で、ぼったり二人きりになりました。気まずいなあと思っていたら、彼女が笑顔でこっちを向き、ひと言日本語で、「もう大丈夫みたいだね」と声をかけてくれました。わざとだったのか。冷たい態度も、自分が早く英語がわかるようになるための、彼女の配慮だとわかった瞬間、すべて納得がいきました。1 年経たずに英語ができるようになったのも、彼女が日本語で助けなかったから。彼女の名前も、きっと死ぬまで忘れません。

一 先生が滞在中、学校の勉強以外でしていたことはありますか。

◆ 勉強以外にしていたことはありません(笑)。日々、英語の辞書を引いて暮らしていました。授業の復習と宿題、予習で手いっぱい。治安も決してよくはないので、遊びにも出なかったし。スポーツは休み時間や体育の時間にいろいろやりました。言葉がわからなくても、スポーツはできました。(あ、でも高地なので、酸素が薄く、最初は少し走るだけで死にそうになりました)。誘ってくれた友人に本当に感謝しています。バドミントン、サッカー、バスケットボール…。誘われたら全部やりました。バスケットボールについては帰国後も高校、大学で続け、現在も部活動指導に携わるなど、ライフワークになっています。

一 先生の海外での経験はその後の人生を振り返ってどんな意味があったと思いますか。

- ◆ 自分が通った学校には、様々な国から生徒が集まっており、その国籍は40か国以上だったと記憶しています。そんな中で一番感じたことは、生徒がみな「自分のアイデンティティを大切にしていること」、「自国に誇りを持っていること」でした。みんな自分のことが好き、自分の国のことが大好きなんですよ。だから自分のことをすごくしゃべりたがる。自国のことを悪く言うことなど決してしない。その上で、「お前の国はどんな国だ？」となる。優劣ではなくて、「違うなあ。面白いなあ」で終わる。ただ違う。それを知るだけ。その影響か、今の自分は、自分のことを認めて、好きでいようと思うし、自分を作って、育ててくれている日本という国が大好きで、素晴らしい国だと思っているし、そこがブレません。加えて言うなら、誤解を招きそうですが、「すべてをわかり合えることはない」ということがわかりました。違う文化背景で生きてきた人間が、真に理解し合えることはまずありえないと考えるようになりました。知ろうとはしなくてはいけない。でも「わかって、合わせる」必要はない。「わからない」ことをわかっておけば、衝突は起きないし、妥協点を探っていける。互いに自分の考え方に同意させる必要はない。そしてこの考え方は、国籍だけでなく、個々の人間にも当てはまる。どう生きてきたかはみんな違うので。人と意見が衝突しても、イライラしなくなったような気がします(笑)。



一 顧問をされている先生は、クラブ活動を通して子どもたちはどんなことで成長しているとお考えですか。

- ◆ 目標を設定して、それに向かって個人、チームで取り組むことの意味。一つのことをやり遂げることの困難さとその尊さ。勝ち負けの世界の厳しさ。できないことは助けてもらい、できることでチームに貢献するという考え方。支えてくれる周囲への感謝。成長のために、厳しいことに取り組んでいる自分の存在意義の確認、自尊心の向上でしょうか。なにより、いち「面倒くさい大人」として、子どもたちと関わることで、子どもたちが何か感じてくれたらそれでいいくらいに思っています。

一 日本のクラブ活動について、クラブの顧問として先生はどのようにお考えになりますか。

- ◆ 「日本」という国において、学校教員が課外活動としてクラブ指導をしているメリットは多くあるはずで、大学入試を帰着点として、学校教育全体は日本式で動いている中で、部活動の部分だけ海外式がいいからと取り入れたら、教員も生徒も混乱が大きいだらうと推測します。

一 海外で学んでいる子どもたちや帰国生、保護者の方へのエールをお願いいたします。

- ◆ 英語もスペイン語もまったくわからない中で、メキシコへ行き、インターナショナルスクールに入りました。しんどいとか、寂しいとかではなく、感じたことのない孤独を感じました。人がいて、言葉は飛び交うのに、自分は全くその世界に関与できない。その世界に存在していない。「存在価値ゼロ」といったところでしょうか。今まで生きてきて、それより辛い経験をしたことがないように思われます。ただ、それを乗り越え、世界と繋がった時の達成感、成就是、筆舌に尽くしがたいものがあります。自分にしかわからない。よくがんばった、自分(笑)。ぜひ、今の環境でしかできないことをしておいてください。それを保護者の方は見守ってあげてほしいと思います。そのことが、今後どこで暮らすことになっても自分の強みになると思います。コロナ禍を海外で過ごされていることのご苦勞は察するに余りあります。くれぐれもお体に気をつけてお過ごしくださいますようお願い申し上げます。

一 お忙しいところ、貴重なお話をありがとうございました。

インタビューを終えて

スポーツが人生のかけがえのない支えになっている先生は、生き生きされています。帰国時期について「外国語を武器にできる入試制度が多くあるので、その情報をこまめに収集しておいて、自分の語学力や経験を活かせるタイミングで帰国できればよいかと思います」というご助言をいただきました。

## 日本のクラブ活動、どう思う？

今回は、海外と日本のクラブ活動について両方を経験した帰国生とその保護者に感想を聞いてみました。(表記は原文のまま)



### ① 小2から小5までアメリカ 帰国後中学から部活を経験

私はアメリカでは主にベースボールとバスケットを季節替わりでやっていました。小5の終わりの帰国で、クラブ活動は中学入学の時に始まりました。野球部がない学校だったので試しにバレーボールを始めました。全くの初心者で、身長も決して高くなく、あまり運動神経もよくなかったのですが、ルールを覚え、クラスの人以外の同級生と話すこと、先輩という存在を知るなど、部活へ行くということそのものが特別な時間でした。先輩には敬語を使わないといけないし、対外試合の時にはボールやボールかごを誰が前日持って帰るか相談し一旦家に持ち帰り、休みの日に早朝から遠出するのは結構大変だった記憶があります。

入部直後は球拾いばかりでしたし、楽しかったかといわれるとそうでもない時の方が多かったかもしれません。が、授業が終わると一目散に体育館に行ってしまう習慣が身につけていました。アメリカのようにすべて親がかりで練習も試合もついてきてくれて、たくさんの大人が拍手してくれて常にほめてくれるというもの日本のクラブは全く違うものだと痛感しました。でも、生徒だけで電車を乗り継いで集合して、先輩の手伝いをしたり応援したり、時には試合に出させてもらったりしたことは、日本の社会への第一歩だったのかもしれない。今思えばよい思い出だったと思います。

#### 保護者より

日本の中学生は小学生と比べると一気に世界が広がります。帰国生であればなおさらです。これまで親に保護され、友達もクラスメートくらいだったのが、公立中学であればいくつかの小学校から生徒が集まりますし、私学であれば通学範囲もグッと広くなり交友関係も親が把握しきれなくなります。そんな中クラブに入部することでクラスメート以外の同級生とのつながりや、先輩からもいろんな情報をもらうことができ、担任以外の先生が目があるのは親としても心強いと感じました。

### ② 1才から中2までアメリカ 帰国後中2から部活を経験

私が日本に帰国後、日本の学校のクラブ活動を経験して感じたことはたくさんある。まず3学年が一緒のチームに属することで先輩後輩の上下関係がしっかりしているところだ。アメリカの学校のクラブ活動は学年ごとにチームが分かれており、同級生しか同じチームにいない。次に、体験入部に行くことで友人が早い段階でできて学校生活が楽しくなった。私の通っていた高校では文理に分かれて7クラスあったのだが、周りの友人より早くにその垣根を越えて友人を作ることができた。最後に一番驚いたことは部活内でみんな一緒のボトルを使って飲み物を飲んでいただけだ。アメリカでは各自で自分の飲み物を持参して飲んでいたので、みんなで同じものから飲むことには最初抵抗があった。しかし、それに慣れたおかげで友人と同じ食べ物や飲み物を共有することに抵抗がなくなった。日本の学校のクラブ活動を通してたくさんの経験をして、参加してよかったと思う。

#### 保護者より

1才で渡米し、中学2年生の夏に帰国したので、日本での生活はもちろん部活動も初めてだったため、なじめるかどうかとても心配していました。が、夏休みからサッカー部の活動に参加させてもらったおかげで、2学期からの学校生活にはすぐに慣れたので、安心しました。現地のクラブチームと補習校での活動(補習校

の放課後に部活があった)を両立していたおかげで、自信をもってプレーできていたのもよかったのだと思います。

### ③ 5才から10才までアメリカ 12才から15才までインドネシア 帰国後高校から部活を経験



ジャカルタのアメリカ系インターナショナルスクールと東京の私立高校の部活動の両方を経験して感じたことは、活動の種類と頻度の違いだ。例えば、幅広い分野に秀でているオールラウンダーが好まれる傾向にあるインターでは、平均週1回の頻度で活動する運動部、文化部、同好会、ボランティア部の4つに分かれており、私は起業家精神を学ぶ部活と難民支援のボランティア部等、計4つの部活動を掛け持ちしていた。運動部に関し

ては、学校教育の一貫として心身ともに鍛えるパーソナルトレーニング、ヨガ、キックボクシングなどのフィットネスの部活動を通して様々なことが経験できた。それに対し、在学中の日本の高校では、「運動部」と「文化部」のどちらかを選択するのが一般的で、多い部活は朝練込みで平均週4回活動している。練習が多い分、部員間の関わりが濃く、部活動がその人のアイデンティティになると思った。例えば、入学当初に「あの子ってどんな子？」と隣の席の子に聞くと、インターでは「頭が良い子」とか、「格好良くてモテる子」などの返答が返ってくるが、日本では「サッカー部の部長」とか、「ダンス部の子」とか、部活動に関連づけた返答が返ってくる。同様に、日本の部活動を体験した父に話を聞くと、当時の仲間との思い出が沢山蘇ってくるらしい。そういう意味でも、日本の部活動は「一つのこと一所懸命打ち込んだ」という青春の思い出や一生の仲間を作るような役割があるのではないかと感じた。



#### 保護者より

娘は海外の学校で幾つものクラブ活動を楽しみました。アメリカでダブルダッチ部に入り、世界大会で2位になった成功体験は、スポーツも勉強も「目標をたて、目標実現を目指して努力する」姿勢の原点になりました。インドネシアのインターナショナルスクールではボランティア部や起業クラブへ入部し、社会について考えるきっかけになりました。海外でのクラブ活動は、様々な世界を経験でき、物の見方や考え方の幅が広がり、自分の得意、不得意、好きな事を発見し、何をすべきか自ら考え、努力する姿勢を育んでくれたと思います。帰国後は、日本の高校でもディベート部とダンス部に入りました。頭も身体も動かして、自律神経のバランスを整え、ストレスフリーで健康的な生活を過ごしてくれる事を願います。

### ④ 4才から中2までアメリカ 帰国後 中2から部活を経験

私は中学2年の2学期にアメリカから帰国し、陸上部に入部しました。日本の部活動は、楽しさ重視のアメリカのそれと比べて、より熱心に真剣に取り組んでいる人が多いと感じました。それだけに部員同志の関係は強く、同学年グループや先輩・後輩の関係はしっかりと出来上がっていました。とても中途半端な時期に入部した私は、その出来上がっている関係の中に入り込むことは困難でした。物珍しさから来る「ちやほや」はすぐになくなり、私は居場所を確保するのに苦労しました。様々な場面において、色々な人の態度に悩む羽目になりました。「顔をいつも太陽の方に向けていれば影なんて見ることはない」私の大好きなこの言葉の通り、腐らず、諦めず、前向きに取り組み続けました。今振り返って考えてみても、この時期を乗り越えた事が私の大きな精神的な糧になっていると思います。中学時代の一番の仲間は、部活動を通してできましたし、縦の関係を尊重する日本独特の人間関係や、その中でそれぞれの心理なども学ぶことができました。部活動に一生懸命取り組んだおかげで、私の中学生生活はより一層充実したと思います。

#### 保護者より

我が家の子供達にとって部活動に参加しないという選択肢は始めからありませんでした。体力的に、精神

的に、時間的にたいへんになっても、一生懸命に部活動に力を入れることによって得られるものがあると確信していたからです。案の定、娘は悩みを抱えることになりました。親としては、自分の事のように一緒に考えながらも、冷静な対応を心がけました。本人が悩みを必要以上に深刻にとらえることのないように、学校での楽しい出来事に重点をおいた会話や心のなごむ雰囲気作り、食事や生活リズム等の健康サポートに気を付けて、少しでも娘のストレスが軽減され、心のエネルギーが蓄えられるように努めました。後は、実際に問題に直面して乗り越えるのは娘自身です。彼女は本当によく頑張りました。この時期の経験は、目の前の問題から逃げない、自分を見失わない強さを育てる助けになったのではないかと思います。

### ⑤ 中学で部活を経験 中3から高校卒業までベルギーのインター校でのクラブを経験

私は日本の私立中学校で2年半、そしてその後高校卒業までベルギーのインターナショナルスクールでずっと硬式テニス部に所属していた。日本と海外の部活動を比較した大きな違いは、学生生活において占めるウェイトの大きさであると思う。日本の中高生の生活は、部活動を中心に生活が成り立っている。放課後はほぼ毎日遅くまで、また土日や夏休みも練習があり、個人的な理由や軽い体調不良、勉強で追い詰められていても、休むのは憚られる雰囲気がある。むしろ、どれほど忙しくても「文武両道」を実践するのに勤しむことをよしとする。それに比べて海外の部活動は、大変緩いものであった。学校の休み中はもちろん活動がなく、シーズン中も何度か練習を休む権利もあったため、試験勉強や遊びに行ったりするために休むチームメイトも多く、全員が揃う練習は珍しかった。

日本の部活動は生活で占めるウェイトが大きいからこそ、部活動を通して礼儀や作法、先輩後輩の上下関係、タイムマネジメント、集団生活など、大変多くのことを学ぶことができたと感じた。実際、私は日本の大学に入学するまで日本での学校生活はたった2年半しか経験してなかったが、部活動で敬語の使い方や上下関係の難しさがわかっていたため、大学入学後も戸惑うことはなかった。

ベルギーでは、遠征の度に相手チームの家にホームステイをしていたため、多種多様な文化に触れたりすることはできたが、個人主義ということもあって、集団生活などに関しては多くを学ぶことはできなかった。しかし、学校の休み中に家族旅行に行ったり、個人でテニスの地方大会に出場したり、ボランティア活動を行ったりなど、学校の外で多くの経験をすることができた。

このように、部活動を中心に生活を送る日本と、部活動を学生生活のほんの一部として捉える海外とでは、大変大きな差があると感じた。私は個人的には、高校卒業までは一つのことを極めるよりも、世の中の様々なことに目を向けることの方が重要だと思つたため、海外の部活動の方が性に合っていたと思う。しかし、同時に、日本の中学校で礼儀や集団生活について学んだからこそ、日本社会で生きていく術を身につけることができたとも思う。

#### 保護者より

チーム一丸となって高みを目指す日本のクラブと、広く浅く楽しく取り組む海外のクラブ活動とでは目指すところが違うので比べることは難しいが、それぞれに違ったよさや欠点があると思う。しかし、勉強以外に一生懸命打ち込めるものがあるというのは、幸せなことであり、クラブでよい仲間ができたことは、日本でも海外でも楽しく学校生活を送れた大きなポイントになったと思う。海外生活の長かった娘が日本の生活に適應できるのかと気を揉んだが、娘は高校卒業時に、将来は日本で生きていく道を選んだので中学時代に少しだけでも日本の部活で日本の集団生活や上下関係の難しさを垣間見られたことは貴重な経験だったと思う。また、私にとっては、海外では親が子どもを送り迎えすることが多かったため、日頃から練習風景を見たり、チームメイトの保護者達とビール片手に和気あいあいと試合の応援をしたりしたことは海外生活での忘れられない思い出となった。



## サッカーを通じて伝えたいこと

Brilliant+ 代表 高橋 亮

アメリカの大学、大学院でマネジメントを専攻。  
米国で日本人のためのサッカークラブ「Brilliant+」  
を設立し、現在に至る。



中央が高橋さん

高校卒業後、イギリス、ブラジルのセミプロやプロチームでサッカーを経験した私は、2005 年に米国ミシガン州で日本人のためのサッカークラブを設立しました。補習校で子どもたちにサッカーを教える中で、いつかは日本に帰国する子どもたちに、日本人として忘れてはいけない規律と礼儀を大切にすることを、サッカーを通じて伝えたいと思ったからです。子どもはどんな環境にもすぐ適応できる良い面があり、スポンジのように新しいことを吸収することもできますが、一方でアメリカナイ

ズされてしまうことへの保護者の方の不安もよく耳にしていました。せつかくアメリカに来たのだから、アメリカの良いところも身につけてほしいし、日本人の心も持ち続けてもらいたいです。

アメリカと日本ではサッカーのスタイルや指導方法には違いがあると思います。アメリカの指導方法は、とにかく褒めて育てる、そしてまずは自分で考えさせる環境を作る。一方、日本式のサッカーは、細かい技術面を小さい頃から教え、礼儀と礼節が重んじられています。これらは日本の文化にもつながっているのだと思います。私がさまざまな国で日本人としてサッカーをプレーしてこられた大きな要素の一つに、「自分ばかりを前面に出さない、威張らない」姿勢があったと感じています。チームスポーツにはチームメイトがいて、対戦相手がいる。そしてその中に自分という存在がいる。自分のみでは何も成し遂げられず、常にサポートしてくれる親や家族、友人、監督、そして環境を支えてくれる人たちがいて、初めてサッカーというもの成り立つ。こういった「敬う、感謝する心」を子どもたちにも大切にしてほしいと考え、日本式のサッカーとして伝えています。

私自身は、自分の意志で、日本サッカーの経験と礼儀礼節を重んじる心を持って、海外のサッカーチームの門をたたいてきました。けれども、親の駐在でアメリカに来ている子どもたちは自分の意志で来たわけではありません。慣れ親しんだ日本の生活から離れること、友達との別れ、食文化や生活様式の違い、そして言葉が通じないことによるコミュニケーションの欠如といった悩みや辛い経験についてもたくさん聞きました。子どもたちには、海外で苦労したとしても、後に振り返ったときに感謝の気持ちが持てるようになってもらいたい。素直に「ありがとう」と言える大人になってほしいと伝えています。それが、日本人としてのアイデンティティを構築する手助けとなり、将来的には子どもたちの大きな財産になるはず、そう信じて続けてきました。



サマーキャンプのひとコマ

インターネットが普及したことで世界は小さくなりましたが、実際に違う国で生活し、違う感覚、違う価値観に触れることで、見ている世界は格段に広がると思います。私に関わった子どもたちには、スポーツを通して対人関係やチームワークを学び、チームメイトと勝敗を分かち合い、コミュニケーション力を高めてほしいと思っています。大事な時期を一緒に過ごした国境なき友達、仲間の繋がりをさらに広げ、グローバルで豊かな人間となってほしい。そして、駐在によって海外で暮らすきっかけを与えてくれた親への感謝、環境への感謝も忘れないでほしいです。

# かけはしレポート (第24回)

## 帰国時に持ち帰ってきてよかったもの

### ・はじめに

駐在員であるからには、いずれは帰国しなくてははいけません。帰国が決まると、家族ともども引越しという大きな作業がのしかかってくる。海外での生活スタイルをできれば日本でも続けたいと思っても、同じように日本で生活することは難しく、すべてのものを持ち帰ることはできません。どれも大切な家族の歴史に関わるものであるがために、取捨選択に悩みます。帰国経験がある人は、たとえ他人に理解されなくても「これだけはどうしても持ち帰りたかった」と譲れない思いのある特別なものがあるはずです。

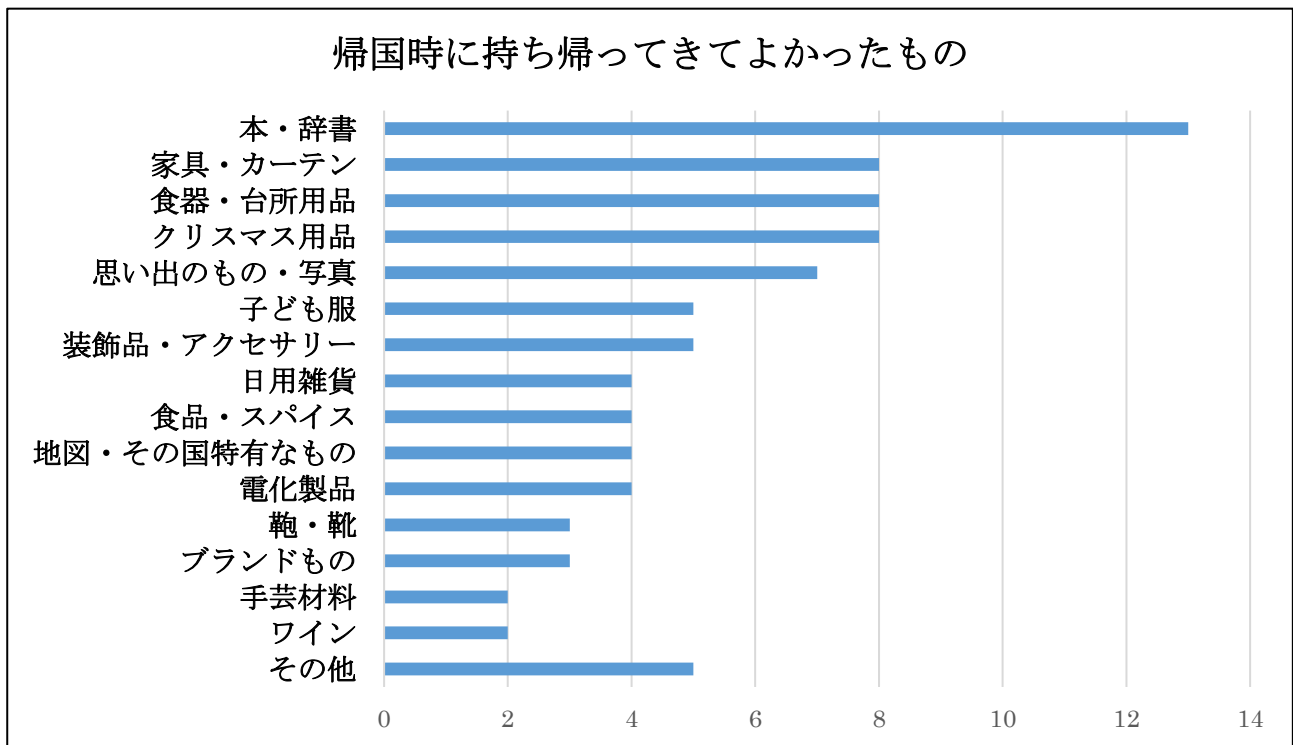
本レポートでは、かけはし会員を中心に帰国時にどのようなものを持ち帰ってきてよかったのか、失敗したものについて意見を聞きました。結果は詳しくお伝えするために2回に分けることにします。今回は「帰国時に持ち帰ってきてよかったもの」です。これから帰国される方のご参考になれば幸いです。

### ・アンケート調査について

- ① 目的：帰国時に持ち帰ってきてよかったもの、失敗したものについての意見調査
- ② 実施期間：2021年10月
- ③ 対象：かけはし会員と海外生活経験のある知人 合計35人
- ④ 質問：帰国時に持ち帰ってきてよかったもの、失敗したもの、それらの理由(自由記述・複数回答あり)

### ・結果と考察

#### 1 帰国時に持ち帰ってきてよかったもの



回答をカテゴリー分けしました。結果は上のグラフのとおりです。一番多かったのは「本・辞書」で、「家具・カーテン」「食器・台所用品」「クリスマス用品」と続きます。「その他」は、「楽器」「楽譜」「キャスター付きのクローラーボックス」「持ち帰ったすべてのもの」「家族の絆」でした。



2 持ち帰ってきてよかった理由 (表記は原文のまま)

カテゴリー	理 由
本 辞書	フランス語の辞書や本は日本ではなかなか手にはいかない。日本では高価である 大人も子どもも楽しめる 子どもが帰国後も気に入ったものを読み返していた。言語保持に役立った
家具 カーテン	ダイニングセットは高かったけど一生の記念、大事に使っている 丈夫でしっかりしている。気持ちが落ち着く。お気に入り エアベッドは手荷物として持ち帰り住まいが整うまで使用。その後も来客用に重宝 オーダーカーテンは色柄、デザイン、材質ともに、これを超えるカーテンに出会ったことがないので、いよいよ古くなったらどうしようかと思案中
食器 台所用品	セール品で安く買えたのでラッキーだった。現地を思い出す Stoke-on-Trent(ストークオントレント)やロンドンで買った Burleigh(バーレイ)やポーランド食器、スペインでの Sargadelos(サルガデロス)の食器は、帰国後の私を毎日文字通り支えてくれている。楽しかったショッピングなどの当時のことを思い出しながら料理している。お客様が来たときに自慢できる。アンティーク柄がお気に入り 鍋は重いがやはりお料理が美味しくできる。帰国してもう 15 年だが毎日使っている 錫のビアマグは冷えたビールがおいしい
ク リ ス マ ス 用品	心癒される。箒に乗ったサンタなど、変わった飾りを見ると当時の懐かしい暮らしを思い出す。オーナメントの店がありかわいいものがたくさんあった 主にヨーロッパだと思うがクリスマスマーケットで売られていたクリスマスオーナメントは世界で一つしかないんじゃないかと思うくらい可愛くて精巧で毎年飾れるのでよかった 日本ではオンラインでしか買えないから日本の友だちに羨ましがられる
思い出のもの 写真	アメリカのナショナルパークのレンジャープログラムで集めたバッジは子どもの宝物 旅行先でマグネットをコレクションしていた イベントや学校でもらった T シャツはキルトにした 写真を見ながら家族で話し合ったり思い出せるから
子ども服	長く使えた、子どもから親へのおさがりもあった。ハロウィンで活用した
装飾品 アクセサリ	見るたびに当時を思い出す。少し値のはったもののほうが、質がいいし、大切に 当時住んでいた家によく似た Lilliput Lane(リリパットレーン)社のミニチュアを友人がプレゼントしてくれました。自分でもビッグベン等買いました。少し高かったけど帰国後の家にはこのミニチュアサイズがちょうどよく、これらもいつも見えるところに飾っています。現地で買ったのはよい記念。日本では珍しい宝石のついた指輪はお気に入り
日用雑貨	日本ではみかけないようなデザインのものがある 歯磨き粉は日本のものよりホワイトニング効果が高い
食品 スパイス	マレーシア産の紅茶 Gold Boh Tea の美味しさの虜になり、日本では入手困難なので帰国時に、スーパーで見つけては棚が空になるくらい爆買いをした 日本では売っていない
地図 その国特有 なもの	地図やナンバープレートはよい記念となった いつも目につくところにあるので、癒しになる。自分の中でその国に住んでいた証となっている

カテゴリー	理 由
電化製品	アメリカの量販店にて 10 ドルで買ったコーヒーメーカーは、20 年以上長持ちしてくれた大容量のコーヒーメーカーは日本ではお目にかからず、親戚の集いの時などに便利 友人から安価で譲ってもらったミキサーは日本では高価で、部品を含めると場所をとるが重宝している。アメリカで薦められた電動歯ブラシを帰国後も使っていたら、日本の歯医者さんに、きれいに磨けていると褒められた。日本ではまだ珍しかったらしい
靴・靴	お気に入りです。丈夫だったから長く使えた
ブランドもの	日本より安かった。ハロッズで買ったバッグは普段使いではもったいないが、オペラとか観劇やパーティのときに持っていける
手芸材料	日本では手にはいらない、または高価である
ワイン	北米から日本であれば劣化はない。フランスのワインは日本で買うより安い。赤道を通らなければ船便で運べる
その他	中国楽器の二胡と楊琴は日本では手に入れることが難しく、とくに楊琴は台も含めると大きいので引越し荷物で持って帰ってきてよかった。アメリカの楽譜はポピュラー音楽など日本で発売されているアレンジとは全然違っていてカッコいい キャスター付きのクーラーボックスは日本で買うと高価だが、ガレージセールで無料でもらった。BBQ したり停電の時に重宝。座れるしテーブル代わりにもなる

お気に入りのものや丈夫で長持ちするものが「日本では手にはいらない」ものであったり、「日本では高いけど現地で安価で手にいれられた」ものであったらますます大切にできますよね。また「記念」や「思い出」となるものは楽しかった海外生活を回想させ、心を和ませてくれます。みなさんの回答には、海外での楽しかった「家族の素敵なメモリー」が溢れています。

#### ・まとめ

帰国時に持ち帰ってよかったものについて、多岐にわたる意見とそのユニークな理由をあげてみました。生活をしていると、ものが増えるのは当たり前のことです。ましてや海外生活ともなると、現地の文化や生活様式をなぞらえるために余計に増えていきます。写真や子どもの作品だって増加の一方です。しかし、どんなに愛着が湧いて大切に使っているものであれ、形あるものはいずれ壊れるのは自然の摂理。またその時の生活にそぐわなければ使うこともありません。引越し荷物をつくる時には、日本の生活でも使えるもの、必要なものは何だろうと考えながらの取捨選択を迫られるのです。

ある会員がこのようなことを言っていました。「歯磨き粉やスパイス、子どもたちの好きなキャンディなどアメリカで使い慣れた普段使いのものをたくさん買ってきただけで、子どもたちもゆっくり日本に馴染んでいけたんじゃないかなと思っています」。大人も子どもも生活環境が変わるのはしんどいものです。そのような時に慣れ親しんだものやいつも食べていたお菓子があることで、ほっと一息つくことができますよね。

それぞれの家族が大事にしたい思い出のものは、帰国後何年たっても、子どもたちが成長して巣立っていても色あせることはありません。それらは、いつでもみんなが笑顔を取り戻せるマジックアイテムなのです。「持ち帰ったものは全部我が家の宝物」という意見がすべてを物語っています。

「その他」に「家族の絆」というのがありました。海外では親戚にも古い友人にも頼ることができずに、家族だけで困難に立ち向かっていく必要があります。その経験が親子の絆を深めたことなのでしょう。そして、この強い絆はいつまでもいつまでも続いていくものであると信じています。今回のアンケートを通じて私たちは、大事にしているものも気持ちも併せて日本に持ち帰ってきたのだと改めて感じることができました。次回は「持ち帰って失敗したもの」についてです。こちらは大変興味深いのでどうぞお楽しみに。

## 海外の学校を紹介します

### ダラム大学～Durham University

K. O.

私はこの夏、イギリスのダラム大学を卒業しました。幼少期をイギリスで6年間、中学、高校の4年間をアメリカで過ごしたことで大学生生活も国際的な環境で過ごしたいと思い、イギリスへの進学を決めました。大学では経済学と国際関係学に没頭でき、また、サッカーや学部を通じた友人にも多く恵まれ、非常に充実した大学生生活を送ることができました。

ダラム大学のメインキャンパスは、英国北東部の都市ニューキャッスルから電車で15分ほどの都市、ダラムにあります。私はこの大学がイギリスで3番目に古い長い歴史を持つことや(1832年設立)、世界遺産のダラム大聖堂やダラム城にも惹かれました。全学生約17,500人の約2割が留学生で構成されており、イギリスの大学でも珍しいカレッジ制度(ハリーポッターの「ハウス」のような制度で17カレッジありそれぞれの特色があります)を採用しています。入学時にカレッジを指定され(希望も出せます)、全員自らのカレッジでの寮生活が始まります。2年目からは寮を離れ友達とシェアハウスに住む学生が多いですが、最初のカレッジでの寮生活が後の大学生生活に最大の影響を与えると断言して過言ではありません。ちなみに、ダラム城もカレッジの寮のひとつとなっています。

寮生活や課外活動はカレッジごとで行われるものの、授業は大学全体の学部ごとで行われます。多くの学生は、学問以外の課外活動にも取り組んでいます。カレッジ制度の利点は、それぞれにスポーツチームやソサエティーがあり、自分の学部以外の学生とも多くの交流を持つ点です。また、スポーツ上級者には大学代表のチームもあり、こちらは他の大学との試合も多くあります。週末に友達と気軽に運動をしたい人からアスリートの人まで、全ての人が楽しめる環境です。これはスポーツに限らず、吹奏楽部や演劇部などの文化部にも共通しています。私の所属していたカレッジのサッカーチームは、大学内のトーナメントで決勝まで進出し、大きく盛り上がりました。

私が思うダラム大学の特徴は、学問や課外活動、大学生ならではの楽しみがすべてバランスよく楽しめることです。キャンパスが小さく大きな町からも離れているため、少し物足りないと思う学生も少なからずい



忙しい学生生活から息抜きをする  
散歩コースもたくさんあります

るかもしれませんが、その分ダラム生同士で接する時間は長く、非常に濃い時間を過ごせると思います。土曜日のお昼から町中のパブで、ビールをわずか£2(約¥280、ちなみにロンドンでは約£5。イギリスでは18歳から飲酒できます)で気軽に楽しめるのも、地方ならではの特権です。

COVID-19の影響で、卒業式は2022年の3月に延期されました。自然豊かなダラムに戻り久しぶりに友達に会えるのを、今からとても楽しみにしています。



大聖堂の中庭は、ハリーポッター  
の撮影地として有名です

## 異文化でドッキリ! <乗り物編>

毎回驚きっぱいの異文化でどっきり。今回は各国の乗り物にまつわるエピソードです。

車で移動の日常生活から離れ、旅先で列車の  
アムトラックに乗ってみた。駅を出てスピード  
もアップ、隣の車両を見に行こうとした連結部  
分でヒューッと冷たい風…えっ、ドアが 10 cm 開  
いている!誰か降りた? 閉まってなくても発車は  
あり? このときたまたま  
だったと思うことにして  
写真をとった。幸い脱線  
などもなく到着。



(アメリカ)

自家用車にまつわるトラブルはびっくりの連  
続だった。エアコン装備のはずなのにクーラー  
が効かず、猛暑の夏は熱風しか出てこなかっ  
た。さらなるびっくりはエンストだ。オートマ  
車なのに。交差点でアクセルを踏むと、プスプ  
ス…とエンスト。一番ヒヤッとしたのは、  
ラウンドアバウト内でのエンスト。なんで?!  
と叫びながらなんとかエンジンを掛けなおし  
ながらアクセルを踏み、車の流れに乗った瞬間  
は忘れられない。ディーラーに何度訴えても、  
「点検はパーフェクト!」と。んなわけないやん!  
でも帰国時に想定以上に高く売れたことが一番  
のびっくりかな。(イギリス)

電車など、公共の乗り物の車体全体を広告にす  
るとするのは世界共通なのでしょうか?

中国で見かけたこのバス、  
あまりにも斬新で二度見、  
三度見してしまいました。  
理想眼科ってどんな眼科



か知りませんが、この  
バスは一生忘れません。(中国)

米国のハイウェイはみんな恐ろしいほど飛ば  
します。最初はチンタラ走りでしたが、だんだ  
んと恐れを知らぬ状態に。道路の真ん中や側道  
にはバーストしたタイヤがよく放置されていま  
す。高速運転していたら怖い!

我が家はアメリカもカナダも北米大陸東側で  
あればどこでも車で旅行。ある日一般道を走っ  
ていたらポンという音の後ガタゴト。タイヤの  
バーストでした。田舎道でガソリンスタンドま  
でどうにかたどり着きスペアタイヤと取り換え  
ることにしましたが、慣れない主人はモタモ  
タ、ジャッキアップすらできません。そこへマ  
ッチョな救世主が現れなんとタイヤ交換してく  
れたんです。チップを少し渡して無事に次の目  
的地に。めでたしめでたし。やさしいアメリカ  
人ありがとう!(アメリカ)

「ホンダ」というのはバイクのこと。この国の  
ホンダには「定員」がないらしい。3人乗りに驚  
いていると、隙間から1人2人と子どもが顔を  
のぞかせる。今まで見た最高は7人乗り。赤ん  
坊を抱っこして乗っている人を見た時は本当に  
びっくりした。(ベトナム)

ウン十年前、自動車教習所へ行きました。  
日本の免許証は持っていたから運転はで  
きましたが、規定の運転練習も必須でした。  
一番強調して叩き込まれたのは、実技では  
「急ブレーキのかけ方」、学科では「優先」でし  
た。試験の問題には十字路の四方に車、バイ  
ク、荷馬車、人がいる時の優先順位なんてい  
うのが…。さすがに今のアンマン市内で馬を  
見ることはありませんが、当時はたまたま荷車  
を引くロバが大通りを通っていました。

(ヨルダン)

買い物も学校も友人の家も、どこへ行くにも車で高速に乗らないといけないサウジでは、友人と同乗することもしょっちゅうでした。子どもたちも当然、友達と乗り合わせてかけていました。ある日高校生の娘が友達(男子)とでかけた時、突然警官に止められたそうです。イスラムが国教のサウジでは未婚の男女の同席はご法度ですから若い男女が後部座席に並んで座っているのはとんでもないこと。ドライバーが「兄妹だ」とかなんとか言い抜けてくれたそうです。全然似てなかったけれど。(サウジアラビア)

ベルギーに赴任して、夫からまず言われたのが、「右優先だからな」でした。信号や標識のない交差点では、たとえ右の道が小道であっても、右の車に優先権があるため、右から一時停止もせず車が突っ込んできます。常に右側を意識して運転しなければなりません。初めて友人のベルギー人の車に乗った時、右だけ見てまったく左は見ずに運転するので、怖くて、この人の車には2度と乗るまい、と思いました。でも最近、これはとても合理的なルールだと思えるようになってきて、今じゃ私も、右しか見ない、立派なベルギードライバーです。(ベルギー)

夫の運転でクネクネ山道を上っていた時のこと。いきなりポリスカーがサイレン鳴らしてやってきて、停車しろとの指示。慎重な夫の運転なのにスピード違反か。いや法定速度ぴったりで走っていたはずなのになぜ? 窓をコンコンするポリスに“Too Slow”と言われた。後ろに3台以上連なってしまったら道を譲らなくてはならないとも。スピード標識は関係なしなのか? 啞然としている夫を横目に、山道はスピード狂の私が運転することにした。(アメリカ)

水運大国と言われるオランダには国中に運河が張り巡らされている。その運河にふと目を向けると、両側にずらっと並んでボートが停まっている。

この多くは自家用ボートで、天気の良い休日には家族や友人と、また金曜の



アフターファイブにはワイン片手に運河クルーズを楽しんでいる人を見かける。運河が多いということは橋も多い。車に乗っているとき、突然渋滞に巻き込まれた、と思ったらその先にある跳ね橋の仕業だった。それは高さ



のあるボートが通過するとき上に跳ね上がる橋のこと。さすが水運大国。(オランダ)

サウジの家に初めて行った時に住宅地の入り口に停まっていた「戦車」にびっくり!その数年前にテロの現場となった外人向けのコンパウンドのゲートはライフルを持った兵隊さんによる厳重な警備だけでなく、いざという時のために小型戦車も常駐でした。しばらくして慣れると、横で昼寝している兵隊さんにも気づくようになりましたが、到着時のインパクトはすごかったです。(サウジアラビア)

この国の車の故障で多いのはクラクションなんですって。日本ではちょっと危ないと思っても簡単にはクラクションを鳴らしません、かの国ではすぐにクラクション。ブプー!ビー!パーン!ブプー!道を歩いているとその音に麻痺するくらいです。夫の会社で使っている車も比較的新しいのに鳴らしすぎて音がかすれて迫力がなくなったとか。そういえば我が家の車のクラクションってどんな音だったかな。聞いたこと(鳴らしたこと)ない!?(中国)

## かけはし各チーム、今年度の取り組み

### 『帰国生への学校案内《関西》2022』発刊にあたって

毎年発刊していた学校案内ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、休刊を余儀なくされました。今年の春も状況は悪化の一途をたどり先の見えない不安の中、できる形での完成をめざして作成に入りました。みなさまのご協力を得て、初のオンラインセミナーをはじめ編集方法にも多くの新たな試みを実践し、無事9月に発刊することができました。ご支援ご尽力いただきました方々に心よりお礼申し上げます。今年のテーマは時世を反映した「コロナ禍などの環境変化における子どもの心理と学校の対応」です。各取材先にアンケートを実施して記事に盛り込みました。ビフォアコロナでは行われていなかった新たな取り組みや特色を反映できたと感じております。本誌に寄せる編集チームメンバーの想いをお届けします。

- ◇2年ぶり、コロナ禍の中での制作は厳しいのではと思いつつ、大変ではありましたが試行錯誤しながらみんなで力を合わせて頑張りました。心を込めて作ったこの本が学校選びの一助になりますように。
- ◇通信技術の進歩のおかげで発刊が可能になりました。Zoomを駆使してのセミナーは、海外からも参加できる利点があり凄いなと思いました。暑い中オリンピックを見ながら原稿チェックした毎日が懐かしいです。
- ◇教育現場も混乱をきたす中、まずは状況把握からスタートし、多くのご協力を得て完成した一冊です。急な帰国となり辛い状況の帰国生はもちろん、多くの方のお役に立てるよう願っています。
- ◇昨年休刊したことが、本を作成する様々な過程を忘れさせていると感じました。そこをみんなのアイディア、取材先のご協力で乗り越えての発刊！必要とされる方にお届けできることをうれしく思います。
- ◇休刊した昨年を経て、今年はコロナ禍の中での発刊にチャレンジしました。セミナーのZoom開催や郵送取材などを取り入れ試行錯誤しながらできたこの本が、少しでも皆さまのお役にたてば幸いです。
- ◇「コロナ禍の状況で本当に発刊できるのだろうか？」と半信半疑でスタートしましたが、たくさんの方々のご協力のおかげで無事に発刊することができました。本当にありがとうございました。



### お母さんたちの底力、かけはしの新しいチャレンジ

「PRチーム」の名のとおり、かけはしの活動を紹介する役割を担います。外部団体の講演会やセミナーなどへの対応、かけはしを紹介くださる関係各位に向けての広告紙面の作成、学校案内や各種イベントのチラシ作成に加え、この1年で新しい試みとして着手したのがインスタグラムの開設とホームページのリニューアル。Instagramは、定例会やイベントの情報などいち早く情報発信するのに役立ち、少しずつ、確実にフォロワー数を伸ばしています。学校案内の各取材校からは、投稿について快く承諾をいただきました。また、取材アンケートの中で掲載校からお寄せいただいた受験生に向けての応援メッセージも投稿、コロナ禍の中頑張る受験生のみならず、我々にも大変励みとなりました。ホームページリニューアルに関しては、会員が、作成ソフトの教則本とサポートサービスの力を借りて手探りで作業しました。渡航前のご家族や海外からのアクセス、学校選びに迷われたご家族など、このホームページにたどり着いた方々の「これこれ！こういうことが知りたかった！」にお応えできればいいなどの思いで、作業に奮闘しています。コロナ禍でも何かできることはないかと、新しい試みにチャレンジし続けた1年でした。今後も、たくましいお母さんたちの底力で新しいかけはしの形を発信していければと思います。



KAKEHASHI.KANSAI

## 世界をつなげ！「秋のオンラインレッツトーク2021」

2021年11月18日、日本通運株式会社との共催でオンラインレッツトークを行いました。例年でしたら、参加者一同が集まっておしゃべりをするのですが、今回はオンライン開催。そのため海外からの参加も可能な画期的なイベントとなり、アメリカ、ドイツ、日本を結ぶワールドワイドな会となりました。5つのブレイクアウトルーム(少人数のグループ分け)では、みなさまの話に共感や笑いも交えた楽しいひと時を過ごすことができました。ご参加くださったみなさま、ありがとうございました。次回また一緒にいたしましょう。



### 会員のつぶやき



- 🌸 最近主人が盆栽ならぬ観葉植物やエアプランツの世話に目覚め、朝夕に水やりや世話にいそしんでる。若い時には考えられなかったけど、子どもが大人になるとかわりに何かを育てたくなるのかな。家事を手伝ってほしい！(団子三兄弟)
- 🌸 昨年は中止のドイツのクリスマスマルクト。今年はコロナ感染状況の悪い州以外は開催される。グリューワインマグカップコレクターの血が騒ぐ。マスクしてワクチンパス片手にハントに行くぞ。(ままつたり)
- 🌸 最近の朝のルーティーンは友達と彼女の三匹の犬たちとの散歩。目が覚めた方から「おはよう！起きたよ」とLINEを送る。「行くよ～」と返信があれば出発。少し待っても音沙汰ないときは、「あっ、寝てるな！お～」と起こすことも(笑)。何気ない会話と可愛い犬たちに癒される私です。(ドレミレド)
- 🌸 毎日の通勤は、自転車の私。たまに会社の用事で出かけることもある。びっくりするのは、朝夕と昼間の周りの自転車のスピードが違うこと。時間に余裕があるとこんなのにのんびり走れるのね～とたまには季節の変化を観察しながら景色を楽しむのもいいなと思う今日この頃。(マッキー)
- 🌸 父の遺した車を息子が引き継いだ。田舎道を走っていただけの年老いた車が、なんと大都会で第2の人生を送ることに。どうやらサーフボードを積んで海にも行っているらしい。まさかそんなハイカラなことになるうとは！父もきっと天国で笑っているにちがいない。(中央フリーウェイ♪)
- 🌸 子犬が家にやってきた！3匹目なのにすっかり振り回されて、なめまくられている私。子育てと一緒にだね～と子どもたちに言われて苦笑い。めげずにトレーニング頑張るぞ！(Ruby)
- 🌸 在宅時間が増え、自宅の2階から見える海を収めた写真が増えた。43階の窓から見る日の出の位置が、少しずつ移動していくことに感動してはシャッターを切っていたNYの日々を思い出す。(アルト)



### 編集後記



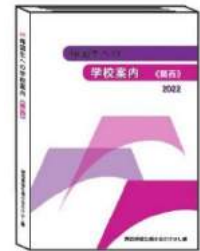
会報 Vol. 46 お楽しみいただけましたか？ご意見、ご感想をかけはしまでお寄せください。やっと外出する機会の増えてきた秋を楽しんでおられますか。近在のお寺のSNSから評判になって広まった「花手水(はなちょうず)」。神社やお寺の大きな手水場いっぱいに入っているのはとてもきれいです。あちこちで見ているうちに自分でもやってみたくくなって、父の庭の手水鉢に花と紅葉を入れてみました。家族はあまり興味がないけれど、「The 日本の秋！」と私は大満足。



**2021 年 9 月 発刊 好評発売中!!**

**関西圏学校情報誌『帰国生への学校案内《関西》2022』**

近畿 2 府 4 県の小・中・高 60 校と教育委員会を帰国生の保護者の目線で取材しました。在籍する帰国生や保護者の声も載せて詳しく紹介した学校案内です。



**編集テーマ「コロナ禍などの環境変化における子どもの心理と学校の対応」**

《特集記事》かけはしセミナー要旨

「環境変化における子どもの心理を理解し支える」ー親もストレスを抱えないためにー

小木曾道子 先生 海外子女教育振興財団「渡航前配偶者講座」WEB 講師

特別リポート 「帰国生が日本の学校生活で一番楽しみにしていたこと」

直撃アンケート「帰国生の選択、海外大学への進学」

《基礎知識》出国前に気をつけること、帰国への準備、海外/日本の学校への入学・編入学、他  
大学入試基礎知識、英語保持教室・塾・予備校情報、他

《取材記事》受験情報、学校の特色、在籍帰国生・保護者の声、先生のお話、他

《コラム》「一時帰国の際に日本で買って帰ったもの」「現地の方に喜ばれたお土産」

「帰国生あるある 現地編・帰国後編」

**A4 判・350 ページ 2,900 円(税込・送料別) ISBN978-4-9908226-5-1**

お申し込みは、かけはし HP ご購入フォームより。Amazon でもご購入いただけます。



こうもり さゆり

**かけはし賛助会員のみなさま** (敬称略、順不同)

パナソニック株式会社 FIA 国際教育アカデミー 川崎重工業株式会社 樟蔭中学校・高等学校

立命館守山中学校・高等学校 啓明学院中学校・高等学校 高槻中学校・高等学校

K. I. H. S. 関西インターナショナルハイスクール 関西大倉中学校・高等学校

早稲田摂陵中学校・高等学校 大阪国際中学校高等学校 辻本久夫(関西学院大学非常勤講師)

樋口正和(小林聖心女子学院中学校・高等学校教頭) 匿名(団体) 匿名(個人)

**♪かけはし会員・賛助会員募集中♪**

< 関西帰国生親の会かけはし編 >

Email: [kakehashi@kansai.email.ne.jp](mailto:kakehashi@kansai.email.ne.jp) URL: <http://www.ne.jp/asahi/kakehashi/kikoku/>

copyright © 2021 関西帰国生親の会かけはし All Rights Reserved

